

盛夏の候、ことぶき大学の皆様いかがお過ごしでしょうか。

令和元年度ことぶき大学も7月となり一学期の締めくくりの学習が今日の研修旅行ということになります。

春の入学式から遠足に運動会、クラブ学習、同好会活動、各種講座に学年別研究、「コーラス」「踊り」そして三市町交流パークゴルフ大会にと、この4か月を振り返りますといろいろなことがありました。

ちょっとここで一休みということで
のんびりとバスに乗って
は「リトルマーメイド」

今日は研修旅行です

今日は、楽しい研修旅行に出発します
札幌でランチとちょっとお買い物、メイ
ミュージカルを鑑賞します。

私は、劇団四季は「キャッツ」が初めて、それも平成27年度ことぶき大学での宿泊研修旅行でしたので今回は二度目となります。

本日の研修は「リトルマーメイド」、「劇団四季」に関する基本的なものを資料としてまとめていますので、行きのバスの中で少し研修していきましょう。そうすると、楽しみが倍増するかもしれませんね。では出発ですよ「行ってきま〜す!!!」

Today's schedule

7月24日(水曜日)

研修のための資料を配布します。

- 06時50分 東山公民館 発
- 07時30分 文化会館 発
(高速利用) 途中トイレ休憩あり
- 10時30分 札幌ファクトリー着
買い物・ランチ
- 12時40分 札幌ファクトリー発(徒歩約8分)
- 13時00分 北海道四季劇場 着
- 13時30分 「リトルマーメイド」開演
- 16時05分 終了後 会場発
トイレ、記念グッズ購入などの多少の時間はとりますが、可能な限り早く帰路につきます。(グッズなどは休憩時間が20分ありますので利用してください。)
- (高速利用) 途中 トイレ休憩
- 19時00分 文化会館着 予定 解散
- 19時50分 東山公民館着 解散

《研修旅行の留意点です》

- ♥ バスは大型の営業車となりますので、38名全員が余裕をもって乗車できます。
 - ♥ 座席について
 - 乗車順は第2研究生か、研究生の順番に学年別に乗車ください。
 - 前列の2シートは空けてください。
(事務局用)
ただし、その後につきましては、バス酔いなどを含めて席の交換は自由です。
 - ♥ 途中で具合が悪くなったりしたときは無理をせず、事務局に連絡ください。トイレ休憩をとりますが、必要に応じて緊急時の対応をしたいと思います。
 - ♥ 札幌ファクトリーでランチとお買物の時間をとります。北海道四季劇場まで徒歩8分ということです。歩きますのでご承知おきください。
- 楽しい研修にしましょう!!

next schedule

8月7日(水曜日)

- 8時45分 当番 大学院1年
9時15分 朝の集い
10時00分 **SUMMER CONCERT 2019**
In Kotobuki college
只今準備中です。
12時00分 昼休み・休憩
13時00分 「コーラス」「踊り」⑤
14時10分 学年別研究 ⑤
15時00分 終了

8/7(水) サマーコンサート コーラス・踊り、学年別研究

今回は8月7日(水)となります。本州の梅雨明けはまだのようですし、日照不足で特に野菜が高騰ということです。

ここ富良野でも朝晩は気温が低く、日中の寒暖の差が大きかったりと本格的な夏はこれからではないかと思っています。

体調管理には十分お気をつけてお過ごしください。次回は“暑い夏を乗り切る”サマーコンサートを予定しています。お楽しみに！！

切り絵クラブ訪問

前回、各クラブ学習を訪問しました。
本日は「切り絵クラブ」の学習の様子をお知らせします。

下の写真は、和紙にパステルで色を付け、霧吹き等でグラデーションをつけるという技法です。講師の松浦先生がいろいろと工夫され、皆さんに紹介していただきました。

次回も各クラブを訪問したいと思います。



「踊り」訪問

午後の「踊り」では花笠の作成に取り組んでおりました。

「踊り」はほぼ完成でしょうか。次回は手作りの花笠で練習するようです。

「コーラス」も順調に進んでいます。私も一緒に歌っていましたが、シャッターチャンス逃してしまいました。

次回はバッチリ写したいと思います。



お薦めの一冊

ことぶき大学富良野校第2研究生 高田 江美子



「天・共に在り」

～アフガニスタン 30年の闘い～ NHK出版 中村 哲 著

1946年福岡県に生まれ日本国内の診療所勤務を経て、1984年(34歳)でPMS(平和医療団・日本)に入り、パキスタンのペルシャワールに赴任以来、ハンセン病を中心とした貧困層の診療に携わり、1986年よりアフガニスタン難民のための医療チームを結成する。

なぜ医師が1600本の井戸を掘り、25kmに及ぶ用水路を拓いたのか。大旱魃(だいかんばつ)と格闘した一人の日本人の記録……

高田さん、ありがとうございました。私も、是非読んでみたいと思っています。

皆さんからの「お薦めの一冊」「お薦めの一冊」、俳句や短歌・川柳などの作品、また「最近気になっていること」など寄稿文を募集しています。